

## ポケットジャーナル



### ★ 海員会館に「市民小ホール」誕生

五月号で紹介した「市民コンサート」など、最近、とみに文化活動に力を入れだした神戸市が、神戸駅南の神戸海員会館に「市民小ホール」を誕生させた。大倉山に着工したばかりの中央公会堂にできる大ホール、中ホールと合わせてト

リオ文化施設となる。

特にこのホールは、昨年十一月完成の「県民小劇場」と同様、自主的創造的上演鑑賞運動のためのホール運動の拠点として各方面から期待されており、收



祝賀公演での神戸女声合唱団

四月十五日午前十時から

行なわれた開館記念式典の後開館祝賀公演では、清元「四季三葉草」、母親コラス、辻久子ヴァイオリニン演奏などがあり、「市民小ホール」は活動を始めた

兵庫県生れの洋画の鬼才青山熊治の没後四十年記念の展覧会が、四月二十二日から五月十四日まで、県立

明治五年五月、朝来郡生野町に生まれた彼は、東京美術学校在学中に、東京府主催勧業博覧会に「老坑夫」

を出品し、二等となつたが、これが画壇へのデビュ

ー作。

一九一四年、大連を皮切

りにロシア、北欧、南欧、

パリと回つて一九二三年、

「高原」が特選、帝国美術

は五百号の大作で、その他白馬会十三会展で白馬会賞

を受け、戦災で焼失した大作「アイヌ」をしのばせる

青山熊治の没後四十年展

はあなたもボランティアに、

誕生日ありがとう運動

行なわれた開館記念式典の後開館祝賀公演では、清元「四季三葉草」、母親コラス、辻久子ヴァイオリニン演奏などがあり、「市民小ホール」は活動を始めた

兵庫県生れの洋画の鬼才青山熊治の没後四十年記念の展覧会が、四月二十二日から五月十四日まで、県立

明治五年五月、朝来郡生野町に生まれた彼は、東京美術学校在学中に、東京府主催勧業博覧会に「老坑夫」

を出品し、二等となつたが、これが画壇へのデビュ

ー作。

河原雲社が三宮神社の境内に移転することは、二月号のこの欄で伝えたが、こ

の程、その河原雲社の由来をまとめた冊子が出来あがつた。

河原雲社については、す

ぐに福原潜次郎編「源平合戦、河原兄弟忠死の事蹟」それに川辺賢武編「源平生田の森合戦と河原雲社の由来」の二冊子が、前者

本運動は精神薄弱問題を国民みんなの問題として考えていくための運動で、ボランティア（自発的な奉仕者）によって運営推進していく。現在も、学生勤労者主婦などのボランティアで運営しています。ボランティアの仕事は、運動の編集、全国各地の地域社会ボランティアとの連絡、ボランティアの研修や施設見学の実施、献金の受付整理、礼状の発送、古切手整理などです。

例会は、月三回で平日の夜と日曜日の午後各回すですが、主婦の方などは平日の午後です。事務所の足場がよいので、みなさん

の都合のよい時間にボランティア活動を行なうたければ結構です。（事務所は午前十時から午後六時まで開いています）

あなたの貴重な時間をボランティアとして本運動のために、ひい

ては社会福祉の推進のために使つてください。

あなたの参加をお待ちしていま

す。（詳細は左記まで問合せてください。）



ら出品された。

「どの人形にも愛着があり、全部展示したいのです」と、「かわいいわね。ステキ！」の一言に加藤さんが、ちらで聞かれ、非常に好評でした。



湊川神社鎮座百年祭献上人形

川神社鎮座百年祭に、楠公父子桜井子別れの人の形を制作し、湊川神社に献上しようとしたのがきっかけで、今回個展となつた。制作に六ヶ月を費やしたとようとしたのがきっかけで、今回個展となつた。

お店を紹介 山手短大から西へ百メートル、再度筋町バス停前にこじんまりした喫茶店が誕生。ジヤーニーという名に恥じず

店内は海外のポスター、テーブルの上には御主人手製の航空早見時刻表付メニューマッチにはスリーレターコード、と何から何までジヤーニーづくめ。

イで世界一周された大追嘉昭さん経営のこの店、大追さんがルフトハンザ航空勤務中は奥さんが、お店をなさっている。大追さんの次の目標は、車によるサハラ砂漠縦断とオーストラリア横断。

階上の本棚には旅の資料が一杯で、どんな旅でも御相談に応じますとのこと。これから海外旅行を計画されている方はぜひ一度足を運んでみられては？ 営業は午前九時から午後十時まで日曜日はお休み。



ジャーニー

★独立美術の吉見敏治さんが、四月十日代表幹事に、秋田博正△正興産業K.K.取締役社長▽下川常雄△住友ゴム工業K.K.取締役社長▽さんのお二人が就任されたご通知がありました。

★神戸経済同友会から、四月十日月五日、田中正雄さん夫妻の娘が、新婚によって、川口美津子さんと結婚され、新しい人生へのスタートをきられました。おめでとう！ 住所は、神戸市長田区本庄町四丁目四ノ四（平成五三〇）七八七三三二（〇九二）

★本誌「神戸戯遊誌」の執筆者としておなじみの白鶴美術館事務局長の青木重雄さんの長女雅子さんが四月二十三日松谷知成さんと結婚されました。おめでとうござい

ます。

★朝日新聞神戸支局で文化担当の石坂満郎記者は、五月一日北海道支社へ転勤され、札幌駅四階図書室を本拠に頑張つていらしゃいます。後任は女性の川名記者。



## 開発から福祉へ

今年は年頭から新聞の論調も福祉社会の建設を強調し、政府の予算案も福祉を一つの大きな柱とした。同様に兵庫県や神戸市も「開発から福祉へ」と姿勢の転換をみせるなど、日本中が福祉色にぬ

りつぶされた感があつた。これも、経済成長万能時代から、国民の生活を中心とした、だれもが安心して暮らしやすい社会を築いていくこうという、

今の日本が立っているからであろう。

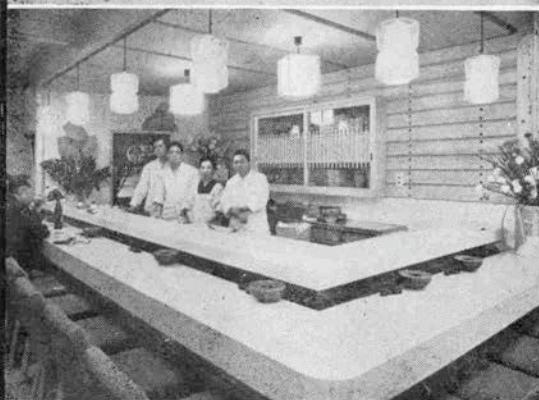
神戸市は日本でも、最も福祉活動の盛んな都市の一つであり、神戸で始つて日本中にひろがつて、いた福祉活動は数多い

障害児の年金制度、マスコミを利用した里親發

祉」のはずである。

KOBE POST

ゆったりと落ち着いたスペースで  
新しい“味”をご賞味ください。



# 鮓の又 宅

神戸三宮生田ノ社ノ西  
電話・三の宮 (331) 0935



おいしさが  
口いっぱいに  
ひろがる……

本場の味



■三宮センター街柳筋店  
TEL 321-3446・331-0572

■新開地店

TEL 576-1191

■平野店（平野市場内）

TEL 361-0821

■三宮センター街サンプラザビルB<sub>1</sub>  
TEL 391-3793

# キリシタンの墓

小山牧子  
え・石阪春生

## 燃える海 断章 5

あらすじ 二年前短期大学を卒業した佳は、母であり、歌人である蘭子との生活に息づまりを感じる。ある日佳は頤成寺の墓地の暗がりで会った村重船長と名のる老人から自分の父村林裕作の過去を知る。その父が久しうりに航海を終えて海戸に帰つてくるが、蘭子の冷たい態度に佳の心は複雑だつた。そんなある日、佳は蘭子の短歌が新聞に載つてゐるの見つけるが、まさしくそれは裕作の初恋の女性、故由佳子の短歌の寄せであつた。思いあまつた佳は歌誌「せせらぎ」主幹に審議の手紙を書く。そして主幹の怒りにふれた蘭子は完全に短歌界から抹殺されることになり、ある日塙屋沖で蘭子の死体が見つかる。苦悩する佳と父との対話がつづく。ふと気づくと深夜の部屋の窓が奇妙なバラ色に染つていた。

「パパ、タンカーが燃えているのね」凝然として窓辺に立つ父の背後で、佳が小さく叫んだ。

地球の裏側から、突然、深夜の海に灼熱の太陽がせりあがつてきたかのように、あたりに奇妙な明るさがみなぎつてゐる。海とおぼしいあたり一面は、霧と燃える船からふき出したらしい薄いガスに覆われ、佳たちが立つ窓辺にもひたひたと異臭をふくむガスが這い寄つてくる。薄いオレンジに染まるガスの奥に確固として存在する真紅の芯が、燃える船であつた。船が放つ熟れた陽光のような光りに炎られ、海近くに立つ樹木や家々は、内部に隠し持つ魔性のものだけを露わにするかのように、黒くおぞましい姿でそり立つてゐる。

「パパ、大変なことが起つたようね」

父と娘が、二人だけの暗い私生活の穴に沈み込んでいる間に、二人をとり開む広い世界の一端が炎をあげて燃えだしていたのだ。そして、燃えている一端は、決してそれだけにとどまらず、この都市に住む人々のすべてに大きな被害を与えるようとしているのだ。

「私達が、最も恐れていたことが起つてしまつた……」

朱色に染まる窓辺の虚空に、黒いきびしい横顔を見せて



いう裕作からは、先刻までの打ちのめされた男の無惨さは見当らない。

「わたし達、どうなるの？海に流れだした重油に火がつるのは、時間の問題だわね」

投げやりな口調でいつたとき、佳の胸を一瞬前まで閉ざしていた蘭子を悼むおもいが、再び地に伏して慟哭したいほどの激しさで戻ってきた。

——燃えてしまえばいいんだ。海も街も、この世にあるもの全部が灰になってしまえばいいんだ。勿論、この罪深く、生きてゆくことの重みに耐えかねているわたしとパパの肉体と心も、みんな燃えてしまえばいい。そして、パパと一人で手を取りあってママのあとを追つてゆき、許しを乞うことが、わたし達にふさわしい勤めなんだ。

佳にとって、すでに未来はなかつた。たつた一人の母親を死に追ひ込んだ娘が、これから先を生きて、どれほど有意義な存在となりえよう。自分以外のだれかを幸福にすることはおろか、またまた何かの公の犯罪にはならないけれど、それ以上に陰険な罪をおかして、人を傷つけかねないではないか。

暗い一人ぼっちの穴の底に沈んでゆく佳には、神戸港でタンカーが燃えているという恐怖にみちた現実が危機感となつて迫らない。

——燃えろ、燃えろ、もつと燃えろ……。

燃える船を見つめることは、荒れ狂う自分の心を凝視することであつた。

いつか、燃えている船の姿は、厚みを増した朱色のガスの中に姿を消し、海全体が真紅に染まりはじめていた。吐き気をもよおすような強い異臭が、二人の鼻口をふさぐ。

「何時頃なんだろうね、ケイ……」

むつりと黙り込んでいた裕作が窓辺を離れていつた。

「二時二十分過ぎよ……」

「そう……ケイは、深夜放送をよく聞くの？」

言いながら、裕作の手は彌り込みのあるマホガニー製の机の上に置かれたトランジスター・ラジオを取りあげ、スイッチを操作している。

放送は、ムード音楽が続いたあと、臨時ニュースに変わった。

『先にお知らせいたしました通り、リベリア船ワールド・クルーズ号に碇泊中を側面から衝突され、機関室から出火、炎上中のギリシャのタンカー、シー・ホース号（一〇万二七〇総トン）は、その後も更に火勢を強め、火の手は次第に油槽タンクに迫っております。現在のところ、タンクの破裂は見られず、乗組員全員は救助されました。が、このままの状態で船が炎上を続けるならば、壁を爆破させて、外部に流出することが考えられます……』

アナウンサーの報告が終つたあとも、海上保安庁や大学から集められた関係者の談話が流されたのであるが、それぞれ心ある人たちが、この事故あることを予測し、恐怖していくながらも、先例にとぼしい事件だけに、その道の権威と称する先生方の談話もしどろもどろ、その声の調子から彼等の狼狽ぶりだけがうかがえる類いのものであった。

が、識者たちが共通して訴えていることは、一〇万トンのタンカーの油槽タンクは、こういつた事故の被害を最少限度にふせぐために、七つから八つの小さなタンク室に区切られている。だから、火炎を発生させずに、衝突その他の事故でタンクの一部が破壊された場合は、積んでいる重油はその一部のタンク内のものだけが流失し、他のタンクの分は安全で、海を汚染させることもない。しかし、もし何らかの原因で火炎が発生した場合は、その熱でタンク内の重油が膨張気化し、内部からタンクの壁を爆破することになり、これは連鎖反応的に他のタンク室の壁をも次ぎ次ぎに誘爆する。従つて、積ん

でいる重油のすべてが海に流れだすことになり、そこに火が移ると大阪湾全部が火の海になることは明らかなのである。

放送は再び硬い緊迫したアナウンサーの声に代わった。

『海上保安庁からの緊急通達をお伝えします。現在、神戸港、並びに大阪湾に碇泊中の船舶は、大型船、小型船、ハシケをも含めて、この海域から立ち去つて下さい。どの程度の距離まで避難すると安全であるかは、目下のところ予測がたちません。風むき潮流によつては、瀬戸内海もまた安全海域とはいえないのが現状です。だから、走航能力のある船舶は、和歌山沖以南へ、なるべく外洋への避難が望ましいとの海上保安庁の指示であります』

タンカーの火災に前例が皆目ないわけではない。昭和四〇年五月二十三日にノルウェーのタンカー、ヘイムバルド号が室蘭の港で岸壁に激突して出火、炎上した事件

があった。そのときは、五万八千重量トンの船で原油を二万六百キロリットル積んでいたのであるが、人間たちが手のほどこしようもなく立ちすくむ前で、周囲二〇〇米の海面を火の海にしたまま、二十八日間も燃え続けた。

そのときに比較して、いま炎上しているタンカーは、倍の重量をもつ巨大タンカーであり、重油の積載量も龐大である。それに、室蘭と神戸港では、沿岸の人口密度は比較にならず、受ける被害もまた想像を絶するものがである。

科学万能の時代、人間が創りだした文明の利器が、いま怒り狂い、自然を征服し、神をさえも足下にひざまづかせようとする不遜な人間たちに皆殺しの兇器を突きつけようとしているのだ。

船の火は、海を炎そのものにかえ、ビルや民家が密集する都市にむかって、その巨大な炎の舌を巻きあげてくるのだ。



すでに、深夜放送は音樂を打ち切り、ひっきりなしにニュースを流している。場合によつては、大阪と神戸、その周辺にある海添いの街の住民がすべて家と家財を捨て、避難しなければならないのである。『災害救助法が

発令されました。民間人の参加を得て組織されております。防災会議では、民間人の船舶関係者の協力を要請しております。現在、海上保安庁、府県警、海上自衛隊などが協力して消火剤の投入を行つておりますが、消火剤を運ぶ船、航空機、それらを操作する人員のすべてが不足しております。心ある民間人の協力を得て、この都市の住民すべてに襲いかかる未曾有の人災をくい止めたいものと……』アナウンサーの声は絶叫に近かつた。

燃えさかり、不気味な爆発音をあげ続いている船に消防剤を持つて近づくことは、そのまま死を意味するものである。もし、運搬の途中で恐れられている油槽タンクの爆発が起こったら、人間もろ共、運搬船は火の海に閉じ込められてしまうだろう。恐怖におののく民間関係者の士気を鼓舞するためのよくなアナウンサーの絶叫の声は、むなしく空転するかともえた。が、しかし……佳は、父の裕作が、なんだか身も軽々と部屋の中を動きまわる気配に気付いたのである。見ると、船長の制服などを着込んでしまい、帽子までも目深にかぶっているではないか。身支度をととのえた裕作は、最後にゴム引きの雨合羽を探しあて手にかけようとする。その雨合羽を引つたり、

「パパ！どうしようっていうの？」

驚愕の声をあげる佳の顔を、裕作は喰い入るように見つめる。

「パパの馬鹿！あの火を消しにゆこうといふのね！」裕作は、佳の顔を見つめ続けたままうなずいた。頬には、悲しげな、それでいてなんともおだやかな微笑がただよっている。

「死んでしまうじゃないの。わたし絶対に行かせないわ！」叫びながら、佳は凝然とした。一瞬前、佳はあるの

燃える火で自分自身も父も、この世にあるものすべても焼きつくされればよいとおもつた。そして、父もまたたしはどうなるの？ まだママの四十九日の法要も済んでいないのに。ママだって可哀そうだわ。パパは何時だつてそうだったのね。何時も自分だけがいい子でエゴイストなんだ。』佳は金切声で呟きたてた。

父への怨みで胸がつまり、涙も出ない。憎悪のこもる目で見守る佳の前で、裕作は決つして、あの悲しいおだやかな微笑を消すことはなかつた。が、どのように激しい表情でも言いあらわすことができない断乎とした意志が、その微笑には感じられた。

裕作は、これ以上の優しさが世にあるとおもえぬ暖いまなざしで、なおもじっと佳を見つめ、「ケイ、いつかケイもきっとこんなふうにしたパパを赦してくれるときがくると信じているよ。パパは、ママのために本当にお弔らいに行くんだもの……」

本当に、あのおぞましく燃える海の火は、痛恨の情を残して死んだであろう蘭子の心を焼きつくし鎮魂させるために今宵おどろに燃えあがつたのかも知れぬ。

「佳はね、いまから直ぐパパと一緒にこの館を出て、車で上沢の願成寺というお寺に行きなさい。そこには由佳子のお父さんが住んでいるから、佳を力づけてくれるだろう。パパは、どんなときにも生命を大切にして、必ず佳のところへ帰つてくると約束するよ。だけど、私の留守中、佳は一人ぼっちで淋しいだろう。由佳子のお父さんはね、きっと死んでしまったママの代わりをしてくれるだろし、パパを待つている佳の頼りになるよ」言い終ると、裕作は佳を引つ立て、若い敏捷な足どりで館の階段を駆け降りていた。

(つづく)

オリジナル L サイズ

草履新発売

創業明治二十一年

# 履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL(391)0256



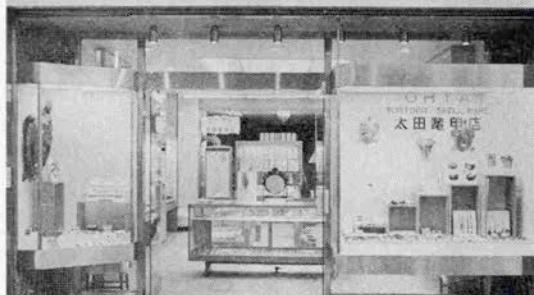
ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

## 三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

## GREEN KOBE SHOPPING

### 太田鼈甲店



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

### 太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

子供と水は大のなかよし

楽しい水遊びはカメヤのオモチャで



おもちゃの **カメヤ**

三宮方面でのお買物は……

さんちか店 ファミリータウン ⑧4045  
三宮店 三宮センター街山側 ⑧4969

元町方面でのお買物は……

元町店 元町通3丁目山側 ⑧0090  
パンプク店 元町通1丁目不二家前 ⑧0768





## GREEN KOBE SHOPPING

日本コンタクトレンズ協会会員  
**国際コンタクトレンズ研究所**  
神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）  
神戸国際会館内 TEL (251)8161・(231)2570

てんぶら おすし 柚 漢

本店 大丸前・三宮神社東  
TEL (331)5577  
(毎週水曜日休み)

支店 さんちか味ののれん街  
TEL (391)5233  
(第3水曜日休み)

営業時間  
A.M. 11.30～P.M. 9.00



# nouvelle

酒肆  
ヌベール

神戸市生田区北長狭通2丁目14

Phone 331-9005



お待たせしておりますが、ポスターは六月中旬に出来上る予定です。

カクテルラウンジ

**SAVOY**  
サヴォイ

ホームパーティでのカクテルの  
作り方を電話でお教え致します。  
お気軽にどうぞ  
TEL 331-2615  
高架山側 テキの店北

フラメンコの店  
**ブルーリボン**

加納町3丁目交差点西1丁上ル  
TEL 231-6378



**6月1日で15周年、情熱のフラメンコ！**

神戸の山手、加納町にフラメンコの店、ブルーリボンがある。ドアをあけると情熱的なカスタネットをかき鳴らす音が耳にはいり、マスターのギター伴奏で情熱のフラメンコ舞踊が見られます。それは月曜日と土曜日の夜、7:30・9:00・10:00です。

のみ物は、スペインのセリー酒（ワイン） 軽食としてトルテージャ（オムレツ）など、いろいろあります。

15周年記念として、フラメンコの絵入りグラスが用意されています。  
お気軽にどうぞ。

セリー酒 ¥300、トルテージャ ¥350

営業時間 PM6:00～PM12:00 (第三日曜は休み)



**DRINKING**

Snack & Drink

**ビギン**

北長狭通3丁目9 サンセットビル地下  
TEL 321-0953



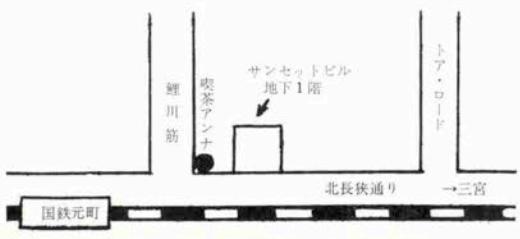
**若いあなたのビギン**

国鉄元町駅を北側へ降りて少し東、サンセットビルの地下一階にもいちゃなお店が4つ。中でもいちばんカワイイ、まっしろなドアにビギンと書いてあります。そのドアをあけると、この3月にオープンしたばかりのあなたのプライベートスナック、ビギンなのです。

ですから、カウンターのむこうもこちらも若さでいっぱい。今夜は、まずビギンからはじめてみたら……。

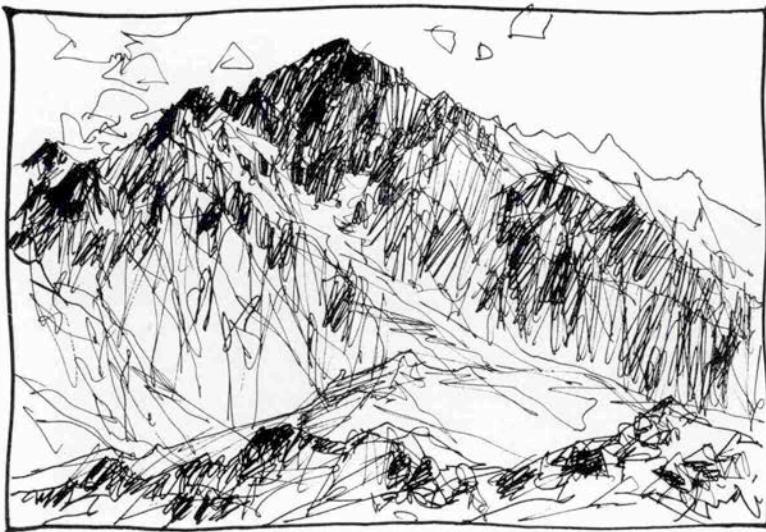
営業時間 PM6:00～PM12:00 ビール ¥ 250

(日曜、祭日は休み)



# 曲線ハイウェイ

武田繁太郎  
え・横塚



あらすじ ★東名高速・浜名湖サービスエリアで、多木洋介は若い神戸の女性宇津康子と知り合い、幾度か逢瀬を重ねた。康子の魅力にかけた多木は、正体を知るため、神戸出身の友人岡本和彦と共に東名神を通り、神戸へ来た。康子を見出せぬ多木は、彼女の面影に似た辰馬英子を紹介され、六甲山をドライブに出かけた。ロマンティックな情景に誘われて、英子を抱きしめた多木の胸に、始めて感じないとおしさがつった。その後須磨のホテルで二人は愛をたしかめがあった。そしてさりげなく二人は別れた。

そしてある日、東京へ来たばかりの康子から電話があり、その夜二人はあるレストランで会った。多木から英子のことを聞かされた康子は、全く割り切っていた。そして二人はTホテルに足を運び、一夜をすごすこととなった。

灯を消し、カーテンをとじると、室内は漆黒の闇になつた。

ベッドによこたわっている多木には、わずかに康子の動く気配らしきものが感じられるだけだった。

多木は腕をのばし、手さぐりでサイドテーブルについているスマートランプのスイッチをおした。テーブルの下部から、ほのかな明りが照つてきた。

ほんやりと、康子のネグリジエ姿が、多木の視界に浮びあがつた。うすいネグリジエをとおして、康子の身体の輪郭が影絵のようにすけてみえた。

多木は、無言のまま、身体をすこしベッドの端のほうにずらせ、かけていた毛布の端をめくつた。

そこへ、康子も黙つて、身体を仰向けによこたえた。

オーデコロンの香が、多木をあまくつづんだ。

二人は、そのまま、暫時動かなかった。二人とも、枕をなべて、ほの暗い天井をしずかにながめている恰好になつた。

多木は、ふと、思いだしていた。二人はきょう逢つてから、まだ抱擁も口づけもかわしあつてはいなかつた。

このホテルの部屋にはいって、二人きりになつてからでも、やはり、そうだつた。二人は冗談めいたことを言つて、屈託なさそうに笑ひあつただけだつた。

いまも、多木が黙つて毛布の端をめくると、康子も黙つて身体をすべりこませてきた。一見、まことに淡淡としたものだつた。

だが、それでいて、二人の気持ちは十分通じあつていた。さつきから、多木の五体は燃えている。康子も待ちかまえていた。嵐のまえの静けさをいつくしむように二人の呼吸はびつたりとあつていた。

はじめての女なら、もちろん、多木もこんな接しかたはできない。

いままで、一夜だけのベッドをともにした女も、かなりいる。

それらの女を抱くときの魅力は、なんといつても、未知なる女の肉体の秘密をさぐれるということにあつた。

女の顔が十人十色であると同様に、その肉体も、秘められた部分もまた、千差万別であった。

多木も姿も似たようなタイプの女であつても、ためしてみれば、どの女にも微妙なちがいがある。その女だけが持つてゐる味わいがあつた。

女自身の反応の仕方にも、さまざまな変化があつた。

ひかえめなもの、つましやかなもの、露骨なもの、積極的なもの、献身的なもの。無限のバラエティに富んでいた。

抱くまえに、まだ知らぬ女の秘密をじっくりと妄想する。

「どんな女か。どんな味を持つた女か」

そう思いめぐらしていくうちに、多木自身の肉体もしだいに昂っていくのだった。

だが、未知の女の味を知りたいという欲望は、その願望をはたしてしまえば、霧散する。欲望ははしがないから、そうなると、またつきの未知の女性をもとめたくなるものである。

プレイボーイだの女たらしだのといわれる連中が、つぎつきと女をあさつていくのも、そのせいであつた。

彼らは、アルビニストが、ひとつの山を征服すれば、またつきの山と、たえず未知の山を征服したがる心理と似かよっていた。

だが、おなじアルビニストでも、ひとつ山の魅力にとりつかれ、その山にいくども登り、その山のよさをすみすみまで味わいつくしたいと欲する場合もあるだろう。

彼らは、深く静かに山を愛する。

多木は、康子と逢う瀬を重ねていくごとに、この女の持つ肉体の魅力にひかれていた。一夜だけベッドをともにした女のよう、その肉体に倦くことがなかつた。逢えば逢うほど、その味わいはふかまつっていた。

多木もまた、アルビニストが好きな山を深く静かに愛するように、この女を愛するようになつていていたといえたかも知れなかつた。

多木は、仰向けていた身体をわずかによじり、片腕を康子の頸の下にいれて、上になつた片腕で、康子の身体をひきよせた。

その腕の動きにあわせたように、康子もまた、身体のむきをかけて、自分の胸を多木の胸にあわせてきた。

多木は、康子のうなじにまわした腕にちからをこめ、その顔をひきよせて、唇をおしつけた。

一瞬、康子は息を呑むようにしたが、すぐ多木の唇をうけいれた。多木の舌が、康子の歯のまを割つて、口中にすべりこんでいくと、康子は目をとじたまま、両の眉をあげ、多木の舌にやわらかく自分の舌をからませてい

つた。

抱きあつたまま、二人は、たがいの舌をいくども交換しあつた。康子のやわらかく湿った舌が、多木の口中に甘い果実のような感触を与える。

多木は、康子の舌を吸いこむたびに、そして、自分の舌を康子に吸われるたびに、身体の奥底から、はげしい官能の波がこみあげてきた。

多木は、康子から唇をはなすと、康子のネグリジェを胸もとからひらいていった。康子も、多木からすこし身体をはなすと、多木の手の動きにあわせて、自分の身体

をくねらせていった。

多木が、康子のネグリジェを脱がすと、こんどは、康子が、多木のゆかたのひもをほどき、両の袖を腕からはずしていった。

全裸になつたところで、二人は抱きあつた。二人とも目をとじていたが、多木は、そうして目をとじていても康子の身体のあらゆる部分を、まのあたりにするようと思ひ浮べることができた。もう目は不要であつた。

二人とも、いくどか逢つていくうちに、たがいの身体を熟知しあつていた。打てば響くように、たがいに相手の動きに反応できるようになつていた。それだけ、二人の情交は、こまやかで、濃厚だつた。

多木は、抱きしめた康子の胸が、高鳴る鼓動とともに熱っぽく燃えているのを肌に感じた。いや。そう感じた多木の胸も、康子の昂奮に共鳴しあつていた。

二人とも、依然として目をつぶつたままだつた。

多木は、康子の身体をふたたび仰向けにすると、自分は、康子の片方の腕の付け根のあたりに顔をあずけた。ちょうど横むきに頬をのせた康子の腋窩も、ねつとりと汗ばみ、ほのかな腋の香が、多木の鼻孔に這いのぼつてきた。

思わず、多木は、胸をふるわせるようにして、息を呑みこんだ。

強烈すぎる腋臭は、多木には悪臭としか感じられないが、ほんのりと、こちらの嗅覚をくすぐつてくるような腋の香には、多木は、こたえられないセクシーな魅力をおぼえるのだった。

多木は、康子の腋の下に顔をうすめ、潤いのある、やわらかい腋窩の襞を舐めながら、その香にむせんだ。

「くすぐつたい——」



康子は、身を反らせながら、呻くように言ったが、すでに康子の胸のふくらみのうえにのびていた多木の手が康子もまた、多木に腋窓を愛撫されることによつて、微妙に昂奮していることを感じとつていた。

こんもりと盛りあがった乳房の頂きで、あわい紅色に  
いろづいた両の乳首が、つややかな小麦色の肌にはえて  
いる。とじた多木の瞼の裏に、あざやかに刻みこまれて  
いた。

その張りのある両の乳房を、多木は、交互にゆつくり  
と輪を描きながら、もみつづけていった。

その愛撫が、五体の奥にまでひびくのか、康子は、も  
まれるたびに、全身をくねらせながら、かすかな呻きを  
もらしつづけた。

多木の手は、乳房の頂きから、丘をくだつて、ふもと  
のほうへのびていった。そこにはまた、たおやかな丸味  
をおびてひろがる高原があつた。  
その高原のうえを、多木の手は、あてどもなくさまよ  
つた。

高原の両端は、鋭いくびれを描いて、断崖になつてい  
る。多木の手は、その断崖を上下左右に撫でさすつてい  
つた。撫でながら、多木の指先きにちからがこもると、  
そこもまた感じやすい個所であるかのように、康子は、  
びくつと身をふるわした。

高原をさまよつていた多木の手は、やがて、高原のさ

らに後方へ這つていった。

なめらかにのびていた多木の指先きに、抵抗するもの  
があった。それは、やや小高くなつた丘のうえの茂みで  
あつた。

茂みは、ゆたかであつた。ゆたかな茂みは、その丘か  
ら割れおちていく谷間の土壤のゆたかさを彷彿とさせて  
いた。

多木の指先きは、しばらく、丘の茂みとたわむれてか  
ら、丘をこえて、谷間のなかにわけいつた。  
無意識に、康子の両肢にちからがこもつていて。だ  
が、谷間は、多木の手をやさしく迎えていた。谷間  
の両わきの襞の重なりが、谷間の奥の泉からわきでる熱  
いものにうるみながら、多木の指をしつとりとしめらし  
ていった。

(つづく)

## <神戸の催物 6月ご案内>

### <音楽>

#### ★ボール・マイゼンフルート

独奏会 1日(木) PM 7:00~9:00

会員¥900 民音

#### ★ビリー・ボーン楽団 2日(金) PM 6:300~8:30

会員¥1,500 民音

#### ★甲南大学経音楽部 3日(土) PM 6:0~9:00 ¥300

★第13回神戸女子薬科大学ギターマンドリンクラブ定期演奏会  
5日(月) PM 6:30~8:30  
¥250

#### ★小寺一夫追悼演奏会 6日(火) PM 6:00~9:00 無料

★スイングル・シンガーズ 7日(水) PM 6:30~9:00  
S ¥2,500 A ¥1,800 B ¥1,500 C ¥1,300

#### ★三大学交歓合唱演奏会 10日(土) PM 6:30~9:00 ¥300

★神戸大学音楽サークル合同発表会 13日(火) PM 5:30~9:00

#### ★フォーカ・コンサート 17日(土) PM 2:00~4:30 前売¥980 当日¥1,100

★第17回コロボルテニオリサイタル 22日(木) PM 6:30~9:00 ¥400

#### ★デューク・エイセスリサイタル 23日(金) PM 6:30~9:00 会員券(神戸労音)

★ペツツイ&クリス 24日(土) PM 6:30~8:30 会員¥750 民音

#### ★A B C スターバレード 30日(金) ①PM 1:00~4:00 ②PM 5:30~8:00

### <演劇>

#### ★劇団はぐるま座“波濤”公演 12日(月) PM 6:00~9:00 特¥1,200 一般¥800 学生¥400

★ミヤコ蝶々のミュージカル「女ひとり」14日(水) ①PM 2:00~4:30 ②PM 6:30~9:00 会員¥1,000 民音

★民芸公演「日本政造法案」北一輝の死 19日~21日 PM 6:15~9:00 神戸労音会員券 滝沢修、清水将夫、斎藤美和他

### <舞踊>

★清水安子創作バレエ公演 4日(日) PM 5:00~8:00  
A ¥1,200 B ¥1,000

★金錦会日本舞踊公演 11日(日) AM 10:30~PM 9:00  
¥1,000

### <その他>

★弘法大師降誕いろは祭 15日(木) AM 9:00~PM 4:00  
無料

★“札幌オリンピック”完成披露試写会 16日(金) PM 6:30~PM 9:15招待

★第2回吉本スター・バーレード 18日(日) PM 6:00~9:00  
指定¥1,200 自由¥1,000

★落語名人会 25日(日) PM 2:00~4:30 会員¥650 民音

★石井・ドーマン教育法講演会 27日(火) PM 1:00~4:00  
¥500

★第684回近畿宝くじ抽せん会 28日(水) PM 2:00~5:00  
無料

★芸術祭賞受賞記念“桂小文枝一門会”28日(水) PM 6:30~9:00 前売¥800 当日¥1,000

★A B C お笑い大道進 29日(木) ①PM 12:00~1:30 ②PM 2:30~4:00 <以上神戸国際会館 251~8161>



原モチならぬなという気がしないでもないのです。袖戸を愛するあまり、神戸の良いところも、悪いところも全てひっくりめて、なんでもかんでも、良い、良いと人にも語り、満足してしまふ自分にハッとしています。

後編



★すっかり初夏になりました、若菜が本当に美しい顔になりました。そして、神戸が本当に美しい顔になりました。神戸が今よりもっとございました。神戸がまつりへの楽しさアドバイス、各商店の初夏要らしである山田文楽、商店街をよきらしである美しさ、「人間性」のノスタルジアのようなものを感じました。土を生む原点として、生存の意志をいまいいます。★いつも新鮮で、センスのある雑貨屋さん。神戸っ子を送つて下さつてあります。神戸、神戸で夜も日もあけて、私が神戸ファーマリも、今はキチガヤの神戸が上につくほど、今までに有名になってしまいましたがこのところそんな自分が、ちょっと

一方では、エドランぜらしくないなって思って、みんなしてしまったことをたびに。繁榮した町に住む人々が、共通した、とり澄ました冷めたまゝの、神戸に限ったことではないが、心地の悪さをも含めて、どう、訪れる回が重なれば、そんな心地の悪さも感じるようになるし、一年前にも、いつた緑の大地が削られ、赤裸々としていたり幻滅されることもあるのです。そして最近では、北野町に乱立するスナック街や、ホステル群には、全く夢をかけばけはしない、わけでもない、かわされてしまいまいました。

すべて繁榮のために仕方のないことでとかたづけてしまえば、それまでだけれど、こうした街や、縁や、人の心をみすこしてはならないのだと、思うこの頃です。

★みどりの季節。山と海の街KOB  
連がい本当にいい頃だ。だけど六年後  
連のみどりになったのはどうだろ  
うだろ。北野町あたりもまた異人  
館が消えて、マンションが二〇キロ  
ヨリ林のそりに植木illionで本  
は育てるといつたもう少しキビシイ  
規則はできないか。前述所感も考  
みて、もろけただけ許可してほ  
しくない。せめてみどり規制を作っ  
てほしいと思いたくなる。

神戸にやつてきた。ブラン・ド・ブランでフランス料理を食べながら英語で日本語を話すのはとっても楽しかった。今度は、シアトルにいるの？」ときめく「そのうち」といふものの、いつの日になることをやらう。★橋本明／朝日新聞朝日が夕刊のみに似た牛。朝日が夕刊のみに似た牛。朝早く起きるのも気持いいことがわからなかった。今月からは朝六時に起きてまつりに編集室に入ることに決めました。いたっ朝。内いティーブルをもらうと約束したミルクホーネル。いつもはべつに預入る頃から始まるルボ。せっかく預入るのとうぶ、おのの底がぬけて裏われ、緋ごし。おとづれの底がぬけて裏われ、緋ごし。うふやさんゴメンなさい。

小小柏嘉嘉金大小小岡岡牛上榎石井石乾砂青荒朝安  
曾 上 比  
林磯井納納井淵野根崎部尾田並野 野豊野木木奈部  
文  
芳良健毅正元ツ一真 伊吉将正成左信 重 正  
ト 都 諭  
夫平一六治彦ム夫造忠子朗雄一明門一彦仁雄昇隆夫

津玉田田田田滝滝竹角砂塙新白雀坂阪古後上小小  
高井中中村宮川川中南田路谷川部口本井林藤林林泉  
和 健寛孝虎勝清 猛重義秀 昌千 時喜末英秀徳  
一之 一之  
一操郎次介彦二一郁去民孝雄渥介雄勝忠虫楽二一雄一

神行山若百村宮宮松福深原畑原野難中中西直外竹  
戸青吉口杉崎上地崎井富水 口沢波西脇木島馬  
年会哉泰 辰正襄辰高芳惣泰專忠幸 太健準  
議二一次二郎一  
所女弘慧郎二雄男吉良郎郎還勝親郎吉助

発行にいろいろお世話いただいた方がた



神戸つ子ごあんない

★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方は、編集室でお申込下さい。さっそくお送りします。

★月刊紳士  
戸の銘店には、お客様までのサービ  
スとして神戸っ子がおかれています  
左の本屋さんへどうぞ。  
コウベブックス　さんちかタウン  
漢口堂　京町  
漢口堂　渋川商店街  
洋書房　セントラル  
東洋書堂　新聞会館  
文庫館　丸前

★発行／神戸つ子N.O. - 134  
★編集・発行／47年6月1日 小泉康夫  
★発行所・神戸つ子編集室  
神戸市葺合区八幡通5ノ96

# 神戸のうまいもんとドリンク

## ★日本料理

阿なご寿司 青

辰  
神戸市生田区元町通3-184  
TEL 331-3435

讃岐名代うどん あこや亭  
神戸市葺合区旗塚通7-5 TEL 231-6300  
トアロード店 TEL 391-2538

和食 くれない  
神戸市生田区中山手通1-1-111  
KCBビル2F TEL 331-0494

かつばう 花くま  
神戸市生田区花岡町45  
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび 悟味西  
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848  
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび 小る里  
鍋もの 神戸市生田区北長狭通2の1  
TEL 331-5535

たこ焼 たちばな  
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

和風料理 樂樹  
神戸市生田区下山手通3丁目41  
トアロード西筋踏道交通入る TEL 391-8649

料亭 大し  
葺合区熊内町6丁目39の6  
TEL 221-1360・1945

寿司ミハラ  
神戸市生田区元町通1丁目12  
TEL 391-3155

## ★西洋料理

レストラン アボロン  
ティーパーラー  
神戸市葺合区八幡通5丁目6  
TEL 251-3231

レストラン 虹  
皮〈あらかわ〉  
神戸市生田区中山手2-9  
TEL 221-8547・231-3315

純フランス料理 エスカルゴ  
神戸市生田区三宮町1-22  
三宮センター街裏 TEL 331-5034

メンバーズクラブ  
レストラン・コーヒーショップ  
ルカ・カルトン  
生田区北野町3-67-2  
TEL 241-4321-4

ステーキハウス れんが亭  
神戸市生田区下山手通2丁目34  
TEL 331-7168

レストラン 男爵  
神戸市生田区中山手1-18  
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode 花屋敷  
三宮フラワーロード市役所前  
TEL 251-2109

鉄板グリル きやんどる  
神戸市生田区北長狭通2-22  
TEL 331-1183

レストラン キングスアームス  
神戸市葺合区磯畠通4-61  
TEL 221-3774

グリル ケーンズ  
東店 生田東門筋 TEL 391-0159  
西店 農業会館西下ル TEL 391-3212

レストラン ムーンライト  
三宮・生田新道  
TEL 331-9554

洋風割烹 和蘭陀屋  
三宮相互タクシー北入  
TEL 321-0230

グリル・鉄板焼 月  
神戸市生田区北長狭通1-24  
生田神社前 TEL 331-2509

ピーフステーキルーム 則竹  
トアロードミズキビル1F  
TEL 331-9580

イタリア料理 ドンナロイヤ  
神戸市生田区明石町32  
明海ビル地階 TEL 331-7158

レストラン ハイウェイ  
神戸市生田区下山手2-20  
TEL 331-7622

ピツアハウス ピノツキオ  
神戸市生田区中山手2-101  
TEL 331-3545

レストラン フック東店  
神戸市生田区栄町1-5-3  
TEL 321-3207

ティー レストラン 那寿  
三宮トアロード  
TEL 391-1873

レストラン ミリオナークラブ  
生田区山本通2丁目50の2  
レストラン 231-9393-5  
メンバーズ 221-1162

メキシコ小料理亭 テ  
神戸市生田区山本通3丁目

## ★喫茶

ブリーカウエスタン

宮水の山手店  
センターブル

modern Jazz & Coffee  
生田区北

高級茶房

★CLUB &  
くらぶ阿

club 飛  
club S

エドワード  
ホワイトローズビル5・6F

club 小  
神

club さ  
モ

club ジ  
神

club ル  
モ

洋酒肆  
神

# イ フ ア ー ナ

18回教寺院前 TEL 231-1188

# 一 ス ト シ テ イ

神戸市生田区三宮町3丁目22  
TEL 331-3770

# し む ら 珈 琲 店

神戸市生田区中山手通1丁目70  
TEL 221-1872-231-9524  
神戸市生田区三宮町2丁目35  
TEL 391-0669

# り げ な く

長狭2-22 TEL 331-9762

# ハ ラ

神戸市生田区元町通1丁目12  
TEL 321-4735

# BAR

# 以 子

神戸市生田区中山手2丁目89  
TEL 331-6069

# 鳥

神戸市生田区中山手1丁目117  
TEL 331-7627

# 〈工 斯〉

神戸市生田区下山手通2丁目6  
TEL 331-2406-331-8993

# ズ 俱 樂 部

神戸市生田区北長狭通1丁目28  
生田新道 TEL 391-3300

# 万

市生田区東門筋中島ビル3F  
TEL 391-0638-4386

# ち

神戸市生田区中山手通2丁目75  
TEL 331-7120

# ヤ ル ダ ナ

神戸市生田区中山手通1丁目111  
TEL 331-8589

# イ ス

神戸市生田区下山手通2丁目29  
ビル地下 TEL 391-5065

# 鈴

1丁目111 TEL 331-2403

# 蘭 西 屋

三宮生田新道相互タクシー北入る  
TEL 321-0230

# c l u b な ぎ さ

神戸市生田区北長狭通2丁目 TEL 331-8626

# c l u b 蘿 く ふ き

神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

# く ら ぶ ぶ 一 げ ん

神戸市生田区中山手通1-1-111  
TEL 331-8593

# c l u b Moon Light

BAR TEL 331-0868-391-2696  
Club TEL 331-0-157

# ク ラ ブ る ふ ら ん

神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

# コ ー ベ イ ン ダ 斯 ト リ ア ル ク ラ ブ

(旧) 神戸実業俱楽部

神戸市生田区元町通1丁目12  
TEL 391-3155

# ク ラ ブ シ ャ ル ル

神戸市生田区北長狭通2丁目10  
TEL 331-5769-5764

# 香港風 パーパークラブ

神戸市生田区中山手通2丁目93 東洋ビル4F TEL 391-3051-3054

# ★ STAND & SNACK

# ス タ ン ド 英 国 屋

生田区下山手通2-6 相互タクシー横  
TEL 331-1100-331-6600

# ス ナ ッ ク エ ル ソ タ ノ

神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

# ス ナ ッ ク や ん ぐ す ぽ つ と

生田区下山手通4丁目4の5下山手マンション1F  
TEL 391-5568

# ス タ ン ド グ ラ ム ー ル

生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

# おとぎの国 び ー た ー ぱ ん

神戸市生田区北長狭通2丁目1  
金剛山南角 TEL 321-1380

# night house リ チ ャ ー ド

神戸市生田区山本通1丁目9  
小寺マンション1F TEL 241-3041

# ス タ ン ド さ り げ な く

生田区下山手通2丁目31  
生田筋上高地西入る TEL 331-3714

# グラタン小屋 5 つ の 銅 貨

神戸市生田区北長狭通2-14  
金剛山西入ル TEL 391-1438

# ス ナ ッ ク ピ ジ ー ピ ー

神戸市生田区中山手2丁目  
TEL 391-4582

# 居 酒 屋 ボ ル ド 一

生田新道浜側中央 K C B ビル B I F  
TEL 331-3575

# 洋 酒 の 店

# キ ャ ン テ イ

神戸市生田区北長狭通2丁目3  
TEL 391-3060-391-3010

# ス ネ カ ジ リ っ 子

神戸市生田区下山手通2丁目  
水見ビルB1 TEL 391-8708

# サ ン ト ノ ー レ

生田区下山手通2丁目トア・ロード  
TEL 391-3822

# で つ さ ん

神戸市生田区北長狭通1丁目258  
三宮映画山入る TEL 331-6778

# S T A N D

# ア ト ラ ス

生田区中山手通1丁目95  
TEL 331-5433

# S T A N D

# F A N F A N

神戸市生田区下山手通2丁目29  
TEL 391-1410

# ス ナ ッ ク

# G A S T R O

神戸市生田区中山手通3-20  
トーアマンション TEL 231-0723

# ス タ ン ド

# ク ラ ブ ・ ガ レ デ ニ ア

神戸市生田区中山手通1丁目115  
東門筋中島ビル2F TEL 391-3329

# S N A C K

# 山 の 手

神戸市生田区中山手通1丁目  
ソネビル1F TEL 221-3637

# 淳 子 の 店

# 娑 (SARA) 羅

生田区中山手1丁目91  
TEL 391-1647

# ス ナ ッ ク

# ダ ン デ イ

神戸市生田区農業会館西筋上ル  
天野ビル2F TEL 331-6450

# S N A C K

# マ ゼ ラ ン

神戸市生田区加納町4丁目1  
TEL 391-2366

# s n a c k

# M O R E M O R E

神戸市生田区中山手通1丁目107  
TEL 391-4162

# ス ナ ッ ク

# 山

神戸市生田区北長狭通1丁目22  
TEL 391-5823

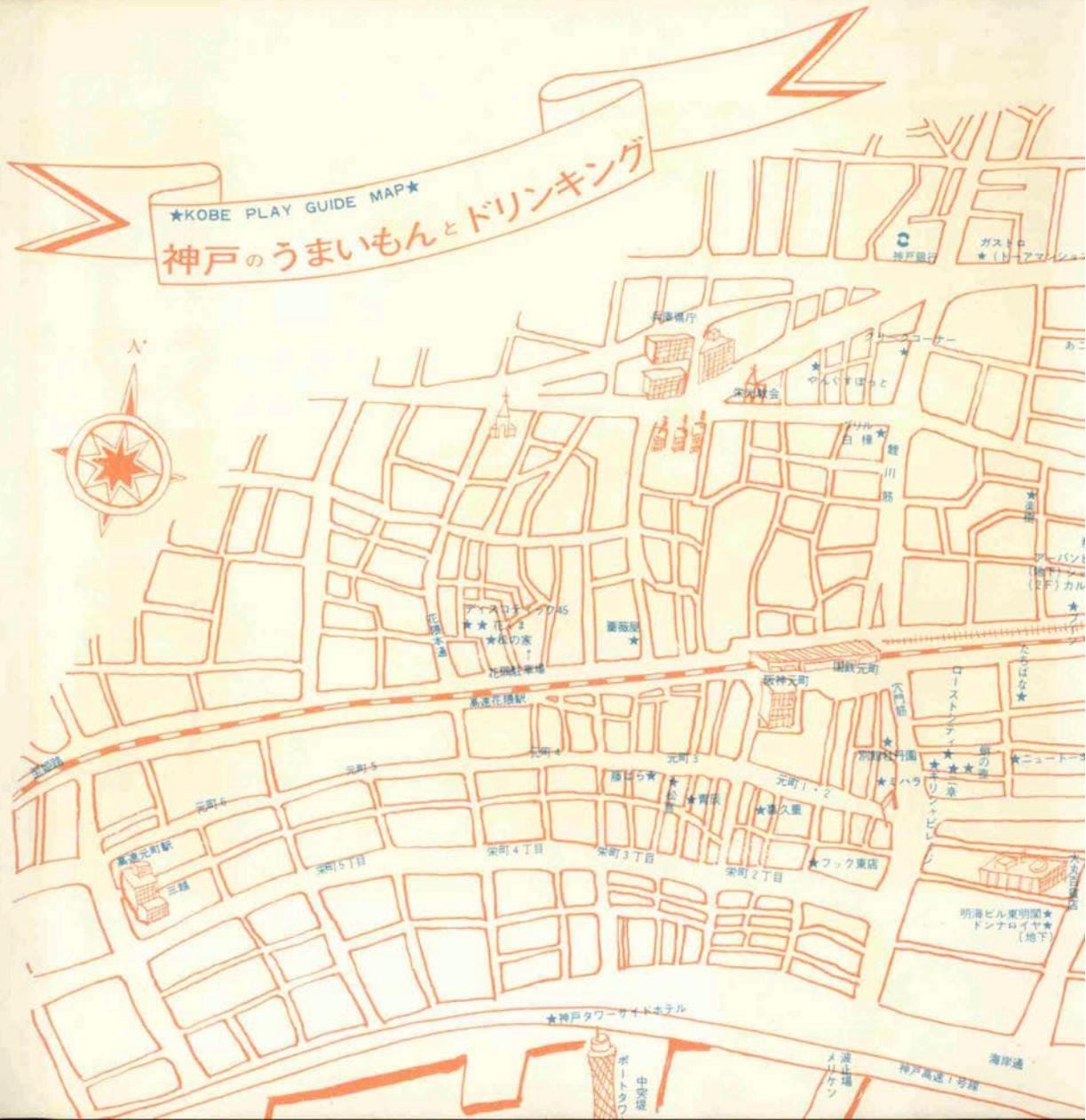
# シ ャ ン テ イ

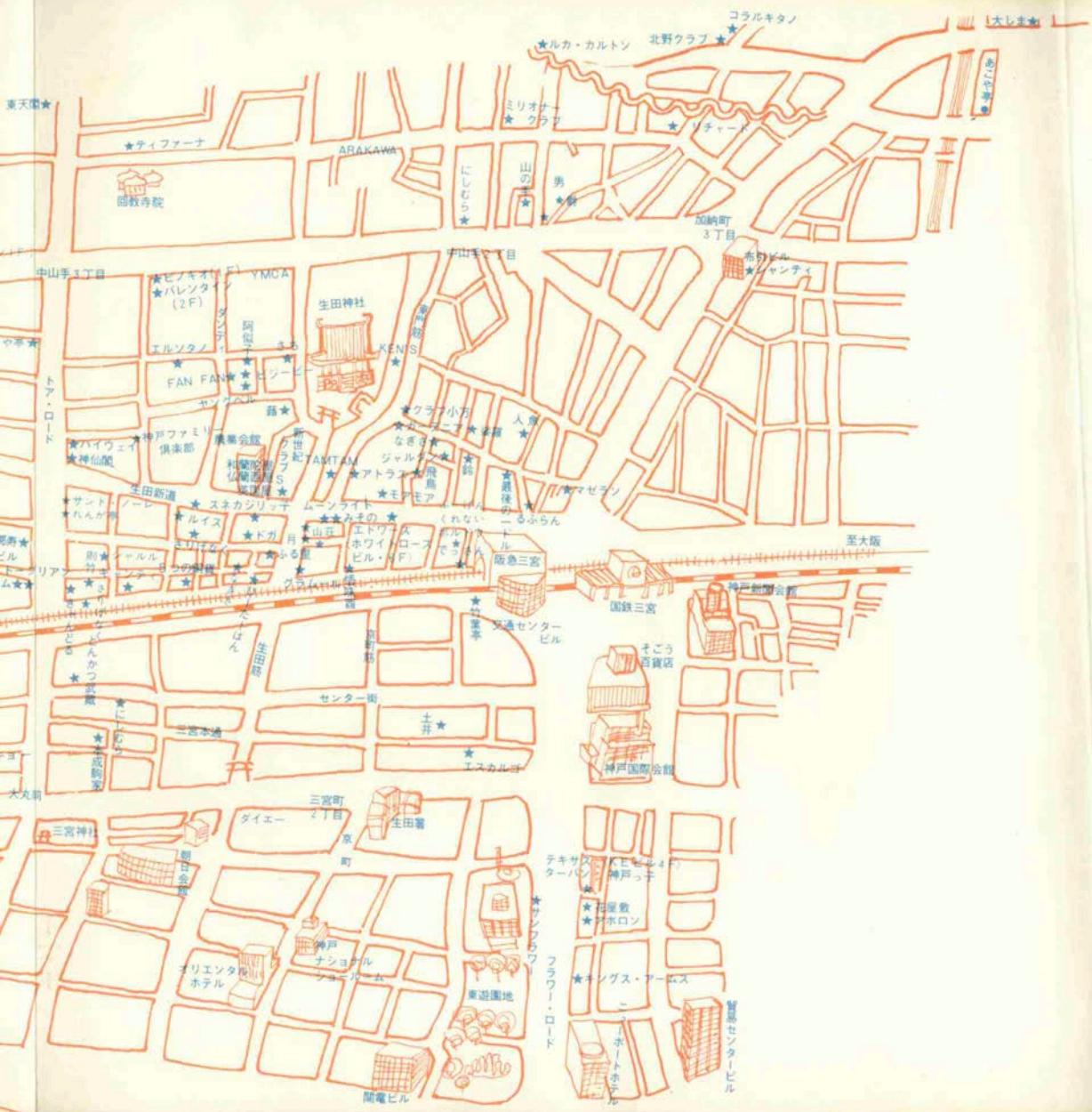
神戸・加納町3丁目布引ビル地下  
TEL 231-5202

# SNACK & DRINK

# ガ ス ラ イ ト

神戸市生田区加納町3丁目番地61  
TEL 241-7724





# balcon antique series ①薬味刷り



★コレクター

中西咲子さん

〈中西勝画伯夫人〉



わたくし達夫婦がメキシコのフチタンで  
インディオの生活をしていたとき、先祖  
伝来で使っていた薬味すりの鳩の形も、  
色も、表情も素晴らしい、好きだ好きだと  
ほめる私達に贈ってくれました。わが家  
のもっとも貴重な美術品です。

英国風喫茶・レストラン

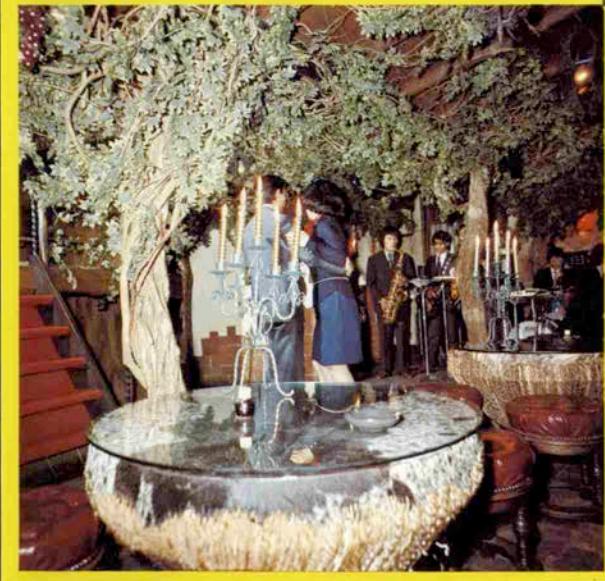


バルコン

神戸三宮サンプラザ地下 TEL (391)1758

# 盗賊の館

でんわ 321・1548



## がわらを食

神戸市生田区中山手通1-5 DIAL 321・0707

### MENU

チャーム.....	200
ビール( Beer).....	300
ニッカ G & G .....	400
ヘネシー( Hennessy).....	800
ニッカボトル G & G $\frac{1}{4}$ .....	2,000
スープ(ポタージュ).....	300
スープ(シチュー).....	300
パン.....	100

★緑の風かおる6月。生田新道の農業会館向い、水見ビルの地下にある“スネカジリッ子”には、小麦色に日焼けした若いカップルの姿が目立つ。

落着いたインテリアと若々しいフレッシュなムード、そして誰でも気軽にお酒を楽しめる店として神戸っ子に親しまれているスネカジリッ子もこの6月10日で満三周年を迎える。これに先立って6月5日(月)の午後5時から9時まで、日頃お世話になっているお客様へのフリードリンクサービスが行なわれる所以、おなじみの方も、はじめての方もぜひお越し下さい。

水割G & G ¥300、ビール(小)¥250、おつまみ¥100

ピッタ ¥350、ミニチュアピン(W)¥500

P.M. 5:00~A.M. 1:00 第1, 第3日曜日休み。但し 6月5日はP.M. 5:00~P.M. 9:00までオープン。



### スネカジリッ子

### KOBE DRINKING GUIDE

### やんぐすぽっと



★さわやかな風香る緑の6月。レジャーにスポーツにとヤングマンには楽しい季節だ。海で山で快い汗を流したあと、リラックスしたひとときを過せるのが県民会館の東、下山手マンションの1階にある“やんぐすぽっと”だ。カラフルな店内には軽快な音楽が流れ、折にふれてマスターの松谷さんの演奏で真白なグランドピアノの素晴らしい音色が楽しめるのもご機嫌。5月には店内も改装され、より落着いた雰囲気で食事やお酒を楽しみ、おしゃべりに花を咲かせることができるようにになった。神戸っ子なら一度は足を運んでみたい店です。

タイムランチ¥250、コーヒー¥150、オールド水割¥300

ビール¥250

営業時間 A.M. 11:00~A.M. 1:00 第1, 第3日曜日は休みです。

★中山手1丁目、レインボービル地下の“點燈屋”は皆様おなじみのレストラン・スナック“スネカジリッ子”的姉妹店。三宮のネオン街に灯をともし、またお客様の手でお店に灯をともしてもらおうというわけで、一昔前點燈屋が街角のガス灯に灯をともしてまわった時のどんぶり前かけを、若いお嬢さんたちがエプロン代りにしているのもおもしろい。豪華なインテリアの中にもスネカジリッ子同様の親しみやすい雰囲気があり、古い珍しいランプもおいてあるので興味のある方はぜひどうぞ。お酒の他におむすびからビーフステーキまで、各種の食事も楽しめるので気軽にご利用下さい。

水割¥400、フィズもの¥400、ビール¥300

P.M. 6:00~A.M. 2:00、第1, 第3日曜日休み。



### テントウヤ

### ガスライト



★三宮駅の北、加納町三丁目の交差点すぐ近くにあるのがこの最高に楽しいスナック“ガスライト”だ。今年で5年目というこのお店は主にヤングのファンが多いが、外人やセンスのある客筋が多いのもこの店の特徴。「安い料金で、多くのお客さんに自分のポケットマネーで楽しく遊んでいただく」というのがマネージャーの杉尾さんの方針。7:00~11:30まで30分ステージのバンド演奏もあり週に4回は外人のバンドも入るので音楽ファンにはたまらない店だ。またお酒の他にも食事も楽しめるので、女性同志や恋人同志でも気軽に足を運べます。

ビール¥200、ウィスキー水割¥300、スコッチ類¥500から。

ビラフ¥250、スペゲティ¥250、ステーキ¥1,300、¥1,800その他。

営業時間 平日午前9時~午前4時30分

日曜午後6時~午前0時 第3日曜日休み